まちづくり目標 ❶

健やかに暮らせるまちづくり

少子高齢化が進む状況下で、住民が健康で安心して暮らせるための支援策などを課題にし、環境美化にも力を入れながら、住みやすいまちづくりを進めていきます。

Plan 1

◆事業計画◆　高齢者ふれあい隊（世代間交流）

（事業内容）いろいろな世代同士や、高齢者のふれ合う場を設ける。

●現　状　少子高齢化が進み、家庭でも集落でも異世代間の交流の場が減少し、特に、高齢者世帯などは子どもとふれ合う機会がほとんどない。

●課　題　高齢者は、移動手段がないため、交流の場へ行くのが困難である。住民どうしが気軽に立ち寄れる場を提供することが必要。

集落によっては、子どものいない集落もあるため、子どもと高齢者がふれ合える場を作ることも必要。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
高齢者ふれあい隊	ふれあいの場の提供	・お泊り体験 ・地域交流会	
保育園児と高齢者とのふれあい事業 中学生と高齢者、 中学生と保育園児とのふれあい事業	学校等の活動に関わりながら、学校と地域が連携した異世代間交流	・保育園収穫祭、もちつき大会など	

●事業効果　子どもとコミュニケーションをとることは、高齢者にとっては生きる活力につながり、いきいきとした時間を過ごすことができる。

地域住民の親睦と交流の場つくり、誰もが日常的に立ち寄れる場をつくることで、お互い支え合い、心豊かに暮らせる。

健康・福祉部

Plan 2

◆事業計画◆　高齢者見守り隊

（事業内容）高齢者や一人暮らしの世帯を定期的に訪問し、困りごとなどの相談できる連絡体制をつくる。

●現　状　　高齢者、独居世帯が増加し、集落単位の活動がないところもあり、住民どうしの触れ合いが少なくなってきているため、困ったときなどの相談場所がない。

●課　題　　高齢者が、日々安心して心豊かにくらすためには、集落ぐるみで高齢者を守る体制づくりが必要。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
高齢者見守り隊	高齢者見守り隊組織		
	高齢者宅訪問		

●事業効果　　相談場所を確立し、高齢者に広く周知してもらうことで、高齢者の不安を取り除くことができる。定期的に人とコミュニケーションをとることで、高齢者の生きる活力にもつながり、いきいきとした時間を過ごすことができる。

さらに、相談員が定期的に訪問することで、防犯・もしもの場合など、未然に防ぐことができる。

Plan 3

◆事業計画◆　子ども見守り隊

（事業内容）子どもの安心安全の確保のため、通学時など見守り隊を地域ごとにつくる。

●現　状　　通学路の横断歩道がない所が多く、危険な場所がある。また、歩道、街灯が少なく、小中学生より怖いというアンケート結果。

●課　題　　学校・家庭・地域との連携がとれてなく、それぞれの活動になっている。
交通事故、犯罪等、子どもを取り巻く社会の危険から子どもを守る必要がある。子どもは私たちのまちの『大切な宝』という認識を持ち、住民全体で守っていく地域づくりに努める。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
子ども見守り隊	子どもの安全確保	・あいさつ運動	
	通学路点検		
	通学路に立つ		

●事業効果　　子どもを持っている保護者にとって、社会の危険等が不安の一つであるが、各集落にこれをおくことで、安全な子どもの登下校を確保することができる。保護者の不安解消に役立つことができる。
さらにこの活動を通じて、集落の人と子どもたちのつながりを深めることもできる。

文化･スポーツ部

まちづくり目標 ❷

個性を生かすまちづくり

佐治町で暮らす一人一人が主体性を持ち、誰もが学習・活動・交流しやすい機会の提供。そして古くから伝わる行事、伝統芸能の継承にも力を入れるまちづくりを進めていきます。

Plan 1

◆事業計画◆　伝統文化芸能サミット

（事業内容）各地区の伝統文化芸能に携わっている人たちの集会を開催。伝承者の育成。

●現　状　少子高齢化、若年層の町外流出により、獅子舞などの伝統芸能の継承が困難であり、昔から伝わる行事などが減少しつつある。

日頃、文化活動に親しむ機会が少ないが、関心を持っている人は多い。

●課　題　各地区による、伝統行事の取り組みの情報交換や共有が必要。

先人が築きあげてきた歴史的財産を守るために伝承者を育成し、次世代に継承していく。それに伴う活動の場や発表の場の確保が必要。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
伝統文化芸能サミット	伝統文化芸能について話す場を設ける	・伝統芸能学習会 ・伝統芸能伝承活動	
	伝承者の育成		
	伝統芸能の発表		

●事業効果　各地区の伝統芸能を見直し、把握することで佐治町の歴史を知ることができる。次世代へ継承し、伝統文化に触れてもらうことで、地域への愛着心が育つ。

Plan 2

◆事業計画◆　集落意見交換交流会

（事業内容）各集落の行事調べ。行事自慢。各集落意見発表会。世代間交流会に繋げる。

●現　状　　合併後、集落ごとの懇談会が減ってきている。
人口の減少により、いろいろな世代で交流できる行事が減少し、住民どうしのコミュニケーションの低下。

●課　題　　いろいろな世代で交流できる行事が必要。衰退している集落行事の見直し。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
集落意見交換交流会	各集落の行事収集	・行事等のアンケート調査	
	集落交流会の開催		

●事業効果　　各集落の詳しい行事が把握でき、衰退している行事などを見直す機会ができる。そして、人と人が交流することで『人づくり』を育むことができる。『人づくり』を構築することで、行動力が向上し、まちづくりにもつながる。

文化･スポーツ部

Plan 3

◆事業計画◆　スポーツＭＵＳＵＢＩ隊（むすび）

（事業内容）町内のあらゆるスポーツ団体を調べ、すべてのチーム名の統一を図り、スポーツ競技を活性化させる。

●現　状　スポーツ大会をしても一部の人しか参加できておらず、マンネリ化も進み、年々参加者が減少してきている。

●課　題　住民誰もが参加しやすい大会、イベントづくりをしてスポーツへの参加意欲の増進を図り、スポーツ人口を増やす。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
スポーツＭＵＳＵＢＩ隊	スポーツ団体の調査 チーム名の募集 スポーツイベントの見直し	・小学校と地区の合同運動会 ・ボッチャ大会 ・他地区、他団体と合同のスポーツ大会	

●事業効果　チーム名を統一することで､種目が違うスポーツ団体でも共通の話題ができお互い身近に感じ一体感も生まれる。それが佐治全体の活気へと繋がる。
また、横断幕なども共通に使用できるので経済的。

Plan 4

◆事業計画◆　みんなとまなび隊

（事業内容）佐治小学校の総合的な学習の一環の取り組みとして、地域の人との交流や自然の中での体験学習を行う。

●現　状　　佐治町全体の子どもの数が減り、異世代交流の機会がなく、住民どうしの交流の場が減少してきている。

●課　題　　学校の授業だけでは体験できない農作業や文化・歴史などを教えてもらう場を作り、佐治町への愛着心を育てる。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
地域の人との交流学習	野菜作りなどの畑作業を通して地域の人とふれ合う機会をつくる	・小学校各学年の学習に地域の人、諸団体が先生になって関わる ・とんどうと餅つき	
	昔から伝わる行事を地域の人に学びながら知る		

●事業効果　　ふだん､接することのない地域の人たちと触れ合うことで､地域への愛着､自然環境への関心を持つことで子どもたちの豊かな心を育む。

文化･スポーツ部

Plan 5

◆事業計画◆　　青少年育成活動

（事業内容）数集落まとまっての子ども会発足。子ども会リーダーの育成。

●現　　状　　子どもの減少により、子ども会の活動が衰退。人数が少なく子ども会を作れない地区もある。

子どもと地区住民が触れ合うことが少なくなったために、お互いの関係が希薄になってきている。

●課　　題　　自分たちの地区と地区の人たちを大切にする子どもたちを育成することが必要。そのためには、地区の人たちとかかわる場を作る。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
青少年育成活動	子ども会発足		

●事業効果　　子ども会の復活により、他の行事との連携を図れると同時に、親同士のコミュニケーションづくりの場になる。

地区の人たちと子どもがかかわりを持つ場を作ることで、地区、そこの人たちを大切にする子どもたちを育成することができ、これが佐治町を大切にする心を持った子どもに育てることにもつながる。

まちづくり目標 ❸

美しい自然を守り、活気あふれるまちづくり

地域のイベントの見直しや各団体との連携との連携を図り、環境美化にも力を入れながら地域活性化につなげるまちづくりを進めていきます。

Plan 1

◆事業計画◆　きれいな佐治を取り戻す計画

（事業内容）地域・各種団体と連携し、佐治全域の環境美化に努める。

●現　状　生い茂った葦により、川の流れ方が変わり、自浄作用が低下し問題になっている。さらに、草木などでも川が狭くなり、景観が悪い。公園や広場なども草が生い茂り、住民が安心して集うことができない。

また、小学校児童、保育園児の減少にともない奉仕作業等も保護者の負担が厳しい状況である。

●課　題　佐治川をはじめ、道路、地区内等の美化意識を高め、町全体の環境整備に取り組まなければならない。また、自分たちのまちをきれいに保つという美化意識を持ってもらう。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
きれいな佐治を取り戻す計画	ボランティアを募集する 佐治川の清掃活動 資源のリサイクル	・保育園、小学校奉仕作業の協力 ・資源回収	

●事業効果　本来の美しい佐治川の景観、自然を維持することができる。

美化意識を高めることで、佐治川だけでなく、道路、地区内等、他への美化意識も芽生え、町全体の美化活動に取り組める。

地域で環境整備に取り組むことで収入を得ることができ、これをまちづくりに有効に活用することができる。

地域・環境部

Plan 2

◆事業計画◆　みんなでできる防犯・防災対策

（事業内容）昼間人口が少ないため、高齢者を対象にした避難方法等の防災対策講座を老人クラブなどと連携し実施する。

高齢者に対し、集落ぐるみで支援体制を構築する。緊急時などの情報伝達・避難誘導などの支援活動を行う。

●現　状　　独居世帯が多く、さらに昼間若い人がいない世帯もあり、災害時などが起こった場合、不安を持っている人が多い。

高齢者の、防犯・防災についての認識の低下。

●課　題　　高齢者だけで行える昼と夜の防災について対策を考えることが必要。

各集落の高齢者の把握が必要。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
高齢者の防災対策	防災対策講座開催	集落単位の地域防災教室	

●事業効果　　避難知識を学んでもらい、緊急時には支援者がいることで高齢者の不安を解消し、安心して生活をおくることができる。

Plan 3

◆事業計画◆　地域活性化対策事業

（事業内容）各振興協議会・各種団体が取り組んでいる事業に協賛する。

●現　状　　現在、各振興協議会でいろいろな事業を行っているが、住民に浸透していないため参加者が少ない。

●課　題　　まちづくりが協賛することにより、全住民に対して幅広く周知を図り、参加者を増やし、イベントを活性化させ地域を盛り上げる。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
口佐治振興協議会 中佐治自治会 第三区振興推進協議会 山王振興協議会　の事業	異世代どうしで身体を動かし交流する 地域活性化を目的に他地域の視察研修 振興協議会単位の地域活性化事業	・先進地視察研修 ・運動会 ・料理教室 ・講演会　　他	
各教室、地域交流会など	住民どうしが交流しながら気軽に楽しむ	・カラオケきてみん祭	

●事業効果　　各地域の取り組みに協賛し、一緒に事業を行うことで地域を盛り上げ、佐治町全体の活性化につなげる。

地域・環境部

Plan ４

◆事業計画◆　各種団体どうしの意見交換交流会

（事業内容）各団体の人たちの集会。各イベントの連携を図る。

●現　状　　同じ人がかけもちの役が多く、負担が大きい。イベントをしても団体どうしの横のつながりがなく、いまひとつ活性化につながっていない。

●課　題　　各団体どうしの連携を図り、情報交換の場やイベントの見直しが必要。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
各種団体意見交換交流会	各種団体意見交換交流会		

●事業効果　　各団体の意見交換の場を作ることにより、お互いに刺激し合うことで団体自身の活性化になり、同時に地域への活性化につなげる。

Plan 5

◆事業計画◆　各振興協議会の意見交換交流会

（事業内容）各地域の意見交換や行事報告。町全体でできるイベント調整や案を考える。

●現　状　　現在、各地区の振興協議会どうしの連携が全く図れておらず、イベントのマンネリ化や少子高齢化などにより、参加人数の減少が目立つ。

●課　題　　振興協議会で行うイベントの活性化。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
各振興協議会意見交換交流会	各振興協議会意見交換交流会	・ふるさと祭りの参加	
	各イベントの見直し		
	各イベントの参加		

●事業効果　　各団体の意見交換の場を作ることにより、お互いに刺激し合うことで団体自身の活性化になり、同時に地域への活性化につなげる。

地域・環境部

Plan ６

◆事業計画◆　青年団・壮年団の設立

（事業内容）イベントの企画、見直し、運営など。

●現　状　　若者、男性が出たいイベントがなく、活躍できる場がない。イベントも毎年、マンネリ化していて参加者の減少も目立つ。

●課　題　　イベントの企画や見直しに携われる機会がない。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
青年団・壮年団の設立	青年団の設立補助		
	壮年団の設立補助		

●事業効果　　自分たちの手で企画や見直しをすることにより、イベントマンネリ化の打破とまちづくりに興味を持ってもらうきっかけになる。

Plan 7

◆事業計画◆　小型バスの運行

（事業内容）佐治全体の小型バス需要数・運行ルートの調査。バス、運転手の確保。
運行依頼。

●現　状　高校生の送迎はかなり負担になっているという声が多い。イベントや行事に出たくても、車がないので出られない人がいる。どこに行くにも不便を感じている人が多い。

●課　題　地域で運行できるバスを確保し、需要を高める。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容		実施期間
小型バスの運行	行政への働きかけ			

●事業効果　住民の移動の利便性を確保することにより、住民の不安や負担を軽減し、イベントなどへの参加者増加につなげる。

広 報 部

まちづくり目標 ❹

みんなが主役のまちづくり

まちづくり協議会全体の活動内容の報告・取り組み状況を定期的に広報紙等で住民に紹介し、まちづくりに関心を持ってもらうよう進めていきます。

Plan 1

◆事業計画◆　まちづくり協議会　広報紙発行

（事業内容）まちづくりで行った活動報告・取組み状況等紹介の広報紙を発行。

●現　状　まちづくり協議会の名前は聞いたことがあるが、どんな活動をするのか、活動状況などを知らない住民が非常に多い。特に高齢者には分かりづらい。

●課　題　まちづくり協議会の知名度をあげるためには、適切に住民に伝えていかなければならない。

広報紙を読んでもらうためには、魅力ある紙面作りが必要。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
まちづくり協議会広報発行	各種調査、取材、情報収集	・「ええさじかげん」発行	
	広報紙発行		
情報発信、情報交換	ネット環境を使った情報発信 各種イベントに参加	・ブログで情報発信	
まちづくり啓発活動	各種イベントに参加	・ふるさと祭り参加	

●事業効果　まちづくり協議会全体の動きを住民に提供することで、協議会への興味、参加意欲の促進につながる。

まちづくり協議会の各部員も他部会の動きを知ることができる。

Plan 2

◆事業計画◆　各地域の情報収集活動

（事業内容）各区長とタイアップして地域の問題、調査活動、意見の収集を行う。

●現　状　　佐治の現状について、アンケートだけでは分からない部分がある。

●課　題　　区長、振興協議会と連携して調査し、こまめに地域の情報収集をすることが必要。
各部会から出た課題の収集からも佐治の現状を知る。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
各地域の情報収集活動	各区長からの情報収集		
	各部会から広報担当を１名選出し現状調査に協力要請	・行政、五し協、学校、まち協との４者対談	
	行政、他団体からの情報収集		

●事業効果　　佐治の現状、住民が何を求めているのかを細かく知ることができ、次の事業につながる。

公民館事業部

まちづくり目標 ❺

集い、学びあい、つながる生涯学習

社会教育、地域コミュニティ活動の振興及び住民の福祉を図ります。

また佐治町で暮らす一人一人が主体性を持ち、誰もが学習・活動・交流しやすい機会を提供します。

Plan 1

◆事業計画◆　生涯学習の啓発と実施

（事業内容）個人の要望や社会の要請にこたえ学習の機会を提供する。また、身に付けた学びをグループ、サークル活動として、学者が主体的に活動できるよう適切に支援を行う。

●現　状　地区公民館の役割、活動を知らない住民が多い。

●課　題　地区公民館が生涯学習の場であり、生涯学習に参加することで豊かな心を育み、様々な人とふれあうことで生きがいのある人生を築き、それがさらにうるおいのある地域づくりに繋がることを知ってもらう。

●事業計画

事業案	事業ごとの目標案	具体的な取り組み内容	実施期間
生涯学習	住民が興味・関心のある学びを提供する	・子どもを対象にした事業 ・料理教室　・講演会 ・民俗行事 ・出前講座 ・人権学習	
	あらゆる立場の人が学べる場をつくる		
	人材育成		
情報発信	地区公民館に関心を持ってもらう	・ふるさと祭りで地区公民館職員参加 ・地区公民館だよりの発行	

●事業効果　地区公民館の講座等に参加してもらうことで、学び、人と人との交流の楽しさを知ってもらい、いきいきとした人生を送る。また、学習した知識や経験を地域に還元して主体的に地域に進出し、まちづくりに繋げ